

くどやま

こんにちは！
議会 です

第122号

編集
発行

☎648-0198 和歌山県伊都郡九度山町議会広報編集委員会 ☎0736-54-2019



「桜まつり」開催

3月31日九度山町入郷にて

主催:九度山まちなか軽トラ市実行委員会



議案審議の結果	P2～3
町の予算	P4～5
主な議案・質疑	P7～9
一般質問	P10～13
活動日誌・編集後記	P14

一般会計主な事業	P3
討論	P6
視察研修報告	P9
意見書	P13

令和 6 年第 1 回定例会（会期 3 月 4 日～21 日）

番 号	件 名	結 果	今 井 三 恵 子	前 川 成 巳	伊 丹 俊 也	松 本 孝 太 郎	前 田 彦 尚	野 口 恭 久	森 一 司	阪 井 亮 太	山 下 晴 夫	西 岡 加 津 子
承認第 1 号	専決した事件の承認について（九度山町手数料徴収条例の一部を改正する条例について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 1 号	令和 5 年度九度山町一般会計補正予算（第 8 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 2 号	令和 5 年度九度山町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 3 号	令和 5 年度九度山町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 4 号	令和 5 年度九度山町簡易水道事業会計補正予算（第 5 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 5 号	令和 5 年度九度山町下水道事業会計補正予算（第 3 号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 6 号	九度山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 7 号	九度山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 8 号	九度山町第 1 号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 9 号	九度山町第 2 号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 10 号	九度山町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 11 号	九度山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第 12 号	九度山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 13 号	九度山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 14 号	九度山町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 15 号	九度山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 16 号	九度山町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 17 号	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 18 号	九度山町地域振興交流施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は採決に参加しません。 ○賛成 ●反対

令和 6 年第 1 回定例会（ 会期 3 月 4 日～21 日 ）

番 号		件 名	結 果	今井三恵子	前川成巳	伊丹俊也	松本孝太郎	前田彦尚	野口恭久	森一司	阪井亮太	山下晴夫	西岡加津子
議 案	議案第 1 9 号	令和 6 年度九度山町一般会計歳入歳出予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第 2 0 号	令和 6 年度九度山町国民健康保険特別会計歳入歳出予算について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
	議案第 2 1 号	令和 6 年度九度山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—
	議案第 2 2 号	令和 6 年度九度山町介護保険特別会計歳入歳出予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第 2 3 号	令和 6 年度九度山町簡易水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第 2 4 号	令和 6 年度九度山町下水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
選 挙	選挙第 1 号	選挙管理委員の選挙について	当選	九度山 稲葉 孝									
				入郷 玉置 成朝									
				河根 三浦 博									
				九度山 堂ノ浦 進									
	選挙第 2 号	選挙管理委員補充員の選挙について	当選	下古沢 廣田 一恭									
				慈尊院 上垣 晃一									
				九度山 新開 豊									
				椎出 前滝 悟									
議 員 発 議	発議第 1 号	ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は採決に参加しません。 ○賛成 ●反対

令和 6 年度 一般会計予算の主な事業

○ 地域おこし協力隊受入サポート業務委託料	2 9 9 万円
○ ひきこもり支援事業委託料	9 4 万円
○ 慈尊院集会所新築工事設計業務委託料	7 0 0 万円
○ 次世代野菜花き産地パワーアップ事業補助金	1 0 0 万円
○ 入郷コミュニティ消防センター空調設備更新工事	1 0 0 万円
○ 下古沢班小型動力消防ポンプ積載車の買換え	6 0 3 万円
○ 防災用河川ライブカメラ更新業務委託料	5 5 0 万円
○ 河根小中学校通学支援タクシー使用料	2 0 0 万円
○ 世界遺産 2 0 周年記念イベント補助金	2 0 0 0 万円

令和6年度 町の予算

◇ 一般会計 予算 4 6 億 4 5 4 万円、前年度比 6 億 4 8 8 2 万円増

■性質別歳出予算

予算の使い方を経費の性質別に分類

人件費	7 億 9883 万円
物件費	9 億 3542 万円
扶助費	2 億 6087 万円
投資的経費	9 億 3785 万円
公債費	4 億 9805 万円
その他	11 億 7353 万円

《用語説明》

- ・扶助費…住民福祉を進めるための経費
- ・公債費…町債の返済金
- ・民生費…福祉サービスの経費

※四捨五入の関係で合計や差し引きの金額が合わない場合があります。

■目的別歳出予算

予算の使い方を目的別に分類

議会費	5526 万円
総務費	10 億 1739 万円
民生費	7 億 8039 万円
衛生費	2 億 8239 万円
農林業費	1 億 7463 万円
商工費	1 億 1043 万円
土木費	9 億 8170 万円
消防費	2 億 3655 万円
教育費	3 億 5589 万円
災害復旧費	1 億 186 万円
公債費	4 億 9805 万円
その他	1000 万円

◇ 国民健康保険特別会計

7 億 6 9 4 6 万円 前年度比 3 9 6 6 万円（5. 4 %）増

＜歳入＞

- 一般被保険者国民健康保険税 1 億 454 万円
税率が改定されます。
所得割 6.70% 前年度比 0.10 ポイント増
資産割 12.00% 前年度比 12.00 ポイント減
均等割 変更なし
平等割 変更なし

＜歳出＞

- 特定健診委託料 455 万円（前年度比 1 千円減）

◇ 後期高齢者医療特別会計 2億1535万円、前年度比1145万円増

<歳入>

- 後期高齢者医療保険料 7735 万円
保険料改定（2024・25年度）
所得割 11.04% 前年度比1.71ポイント増（所得58万円未満は10.13%）
均等割 54,428 円 前年度比4,111 円増
1人あたり平均保険料 75,263 円 前年度比10,545 円増
※保険料は2月14日に開かれた和歌山県後期高齢者医療広域連合議会で決定されました。

<歳出>

- 集団健康診査診察委託料 12 万円 前年度比4 万円増
- 集団健診追加項目委託料 6 万円 前年度比1万7千円増

◇ 介護保険特別会計 7億3173万円 前年度比256万円減

<歳入>

- 第1号被保険者保険料 1億975 万円
保険料（2024～26年度）が改定されます。
所得区分 9段階→13段階に 第10～13段階を新設
第4～9段階 改定なし（保険料据え置き）
※基準額（第5段階） 69,360 円（据え置き）
- 第1～3段階の保険料減額
第1段階 31,558 円（19,767 円） 前年度比3,122 円減
第2段階 47,511 円（33,639 円） 前年度比4,509 円減
第3段階 47,858 円（47,511 円） 前年度比4,162 円減
※（ ）内は公費負担による軽減措置後の金額。いずれも年額。

<歳出>

- 保険給付費 6億4,902 万円

◇ 簡易水道事業会計

収益的支出 1億5053万円 前年度比2795万円（15.7%）減
資本的支出 1億2290万円 前年度比267万円（2.1%）減

- 簡易水道事業公営企業会計アドバイザー業務委託料 440 万円
2023年度からの公営企業会計移行により会計処理方法が変更。
円滑な会計業務を行なうために、事務処理への指導・助言を受けるための経費。
- 河根老朽管更新工事 3,900 万円

◇ 下水道事業会計

収益的支出 1億9875万円 前年度比1560万円（7.3%）減
資本的支出 1億3676万円 前年度比1433万円（11.7%）増

- 下水道事業公営企業会計アドバイザー業務委託料 440 万円
2023年度からの公営企業会計移行により会計処理方法が変更。
円滑な会計業務を行なうために、事務処理への指導・助言を受けるための経費。
- 広域下水道管渠敷設工事 4,000 万円
椎出地区農業集落排水を公共下水道に接続するための管渠整備費

九度山町国民健康保険税条例の一部を改定する条例 令和6年度国民健康保険特別会計予算

討 論

〈反対〉

資産割が賦課される世帯の多くは保険税額が値下げとなります。しかし、資産額がない世帯については、所得額 0 円以外の世帯は値上げとなります。九度山町国民健康保険加入世帯の 54% が所得額 100 万円以下です。所得が少なく資産額がない加入者に更なる負担を求めることになる税率改定には賛成できません。

一般会計予算

〈賛成 1〉

ひきこもりの状態にある人への支援拡大の「ひきこもり支援事業委託料」、「産後ケア事業委託料」、「産後健康診査扶助」など妊産婦と産後の支援、「地域優良賃貸住宅建設工事」で新たな公営住宅建設による住環境の整備、昨年 6 月豪雨で被災の公共土木施設と農業施設の復旧工事が予算計上されています。福祉、保健、防災、住宅、教育の事業で、より幅広く町民の福祉向上を目指す予算案になっていることを評価し、賛成します。

〈賛成 2〉

世界遺産 20 周年記念イベントなど新規事業が積極的に取り入れられた予算案となっています。イベントは九度山町をアピールする重要で大切な手段だと思います。イベント予算を他に回せば、という意見がありますが、これは縮小の論理です。拡大発展の論理で町民の気持ち前向きになり、知恵や創意工夫が生まれれば、それを行政が取り上げる好循環が生まれます。町が発展していく積極的な予算が組み込まれていることから賛成します。

〈賛成 3〉

子ども子育て支援、少子化対策、道路新設改良等は、町民の命とくらしを守る予算であり賛成です。要望について申し上げます。ふるさと納税増額を期待します。世界遺産 20 周年記念イベントのような大きなイベントを行なうについては、(時間的に) 余裕ある提案を願います。歳出の徹底した見直しと企業版ふるさと納税の強化をお願いして、賛成討論とします。

〈賛成 4〉

世界遺産は、町民全体の宝としないといけないと思います。高野町とも力を合わせ、財源も工夫しながら世界遺産 20 周年記念イベントに取り組まれることは大切なことと考えます。以上、賛成討論とします。

ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた 外交努力を求める意見書

〈賛成〉

イスラエルの大規模攻撃により、ガザ地区は「子どもたちの墓場と化し、人々の生き地獄となっている」(ユニセフ)と言われる深刻な危機に直面しています。即時停戦と人道危機打開のために私たちにできることは、世論を高め、その力で日本政府をはじめとした各国政府と国際機関に緊急の行動をとるよう動かすことです。そのために意見書提出への賛同を議会みなさんに強く訴えます。

後期高齢者医療特別会計予算

〈反対〉

2024・25 年度の後期高齢者医療保険料(和歌山県)が 1 人あたり平均で実に 10,545 円もの値上げとなります。高齢者には重い負担です。高齢者が増え、医療費が増えるにつれて保険料がどんどん引き上げられていきます。これは後期高齢者医療制度が持つ問題です。後期高齢者医療制度を廃止し元の老人保健制度に戻すことを求める立場から、後期高齢者医療特別会計予算に反対します。

主な議案・質疑

一般会計 歳出

○ 総務費

地域おこし協力隊受入サポート業務委託料について

問 町としてどのような隊員像をお持ちですか。

答 まず、この予算は町の課題にあった隊員の募集をサポートしてもらう経費であります。これから検討しますが、農業の担い手不足の対策等に活用を考えています。

問 協力隊が決まれば、別途必要経費が発生しますか。

答 そのとおりです。経費については特別交付税で措置されます。

問 具体的にどのような使われ方をされますか。

答 基本的には、募集人材の求人募集や選定作業をサポート、アドバイザーとしていただきます。

○ 民生費

ひきこもり支援事業委託料について

問 委託先の事業所はどのような団体でどのような活動をされてますか。

答 橋本市の法人で、主にひきこもりの方と精神障がい者の方に対する取り組みを行っている事業所であります。

問 これまでの九度山町のひきこもり支援と今後の支援について。

答 これまでは民生委員に協力をお願いして、ひきこもりの方の調査をして頂きました。今後は引き続き、委託先の事業所と町職員が共同して家庭を訪問することを想定しています。

問 医療機関と連携は考えていますか。

答 まずは、訪問と居場所づくりを努めたい。医療機関との連携は今後検討していきたい。

九度山町内公園遊具撤去工事について

遊具（4ヶ所）を撤去後、新たな遊具設置予定はあります。

問 老朽化した児童公園

答 設置予定は、今のところありません。

○ 衛生費

問 産後ケア事業委託料、産後健康診査扶助、新生児聴覚検査扶助、ハイリスク妊産婦交通支援事業扶助、生殖補助医療先進医療費助成事業扶助の5件の新規計上の政策的理由を尋ねます。

答 以前より、町としても検討していたところ、国や県からの要請や補助金等が示された事もあり計上いたしました。

問 生殖補助医療先進医療費助成事業扶助について詳しい説明を求めます。

答 不妊治療のうち保険適用外となっている先進医療を受けられた方

への県の補助に上乗せして町が補助するものです。

○ 農林業費

病害虫駆除対策事業補助金について（クビアカツヤカミキリ対策事業）

問 補助対象の桜は何本ぐらいですか。

答 農地以外（民地や道路、公園）の桜など10本程度を見込んでいます。

問 果樹（梅・桃）は、補助金対象になっていませんか。

答 梅・桃など果樹については県の補助事業の活用となります。

ため池等整備事業鍋谷池廃止工事について

問 ため池の水を抜くことによる周辺の住宅への影響は。

答 そのような影響は想定されていません。

○ 土木費

住宅リフォーム補助金
について

問

空き家への入居促進のため、補助の対象を拡大しては。

答

今後検討材料にはな
ると思いますが、今の
ところ考えていません。

○ 教育費

河根小中学校通学支援
タクシー使用料について

問

運行時間は決まっ
ているのですか。

答

通常時間は授業時間
後 1 便と中学生のクラ
ブ時間終了後の 1 便を
基本としており、下校時
間の変更があるときは、
その都度対応してい
きます。

問

遠方からの児童生徒
さんでも、保護者の方
の送迎が基本ですか。

答

アンケートの結果、制
度があれば利用した
いの意向があり 4 月
からタクシー運用を考
え

ています。

問

タクシーを運行をす
ることによって事実上
スクールバスの利用
になることはないで
すか。

答

この 1 年検証してま
いります。

世界遺産 20 周年記念イ
ベント実行委員会補助金につ
いて

問

全体像をお尋ねしま
す。

答

実行委員会形式で、九
度山町で伍芳さんの北
川先生による対談と古箏
演奏、岡山県の遍照寺大
原住職さんによるバイ
オリン演奏、宇崎竜童さ
んのコンサート、高野町
で南こうせつさんのコ
ンサート、各町でのシン
ポジウムを予定してお
ります。

問

実行委員会の構成と、
実行委員会形式にした
理由について尋ねます。

答

実行委員会は九度山
町、高野町、慈尊院、丹

生官省符神社、金剛峯寺、
南海電鉄で構成してい
ます。補助金を申請する
場合、実行委員会形式を
とる必要があるという
ことです。

答 問

財源は。
1 3 7 2 万円、一般財源
3 2 8 万円、和歌山県市
町村振興協会市町村交
付金 3 0 0 万円です。一
般財源で措置していま
すが、国や県の補助金を
申請しています。

問

学校教育、町民の方
にどういうふうな形で世
界遺産 20 周年記念を落
とし込んでいくのか。

答

子どもたちに授業の
中で従来以上に世界遺
産学習を学んでいただ
き、成果をシンポジウム
に提示し多くの来場者
に見ていただくなどを
考えています。町民の方
には町広報を通じて周
知したいと考えていま
す。

問

計画を立案されたの
はいつですか。

答

事業計画につきまし
ては去年夏過ぎぐら
いから計画しました。

学校給食の無償化について

問

町が給食費を 3 割負
担する予算となってい
るが、和歌山県の給食費
無償化援助の予算を活
用して、10 月から無償化
を実施する考えは。

答

県とも協議し、予算補
正で実施することを検
討していきたい。

国民健康保険特別会計

問

健診等の健康診断の
受診者を増やす為の取
り組みについて。

答

データヘルス計画を
作成し来年度から 6 年
間の計画を立てており
ます。人間ドックは、来
年度につきましては増
額しております。

後期高齢者医療特別会計

問

健康診断受診率をア
ップするためにはどのよ
うな取り組みをしてい
ますか。

答 今年度より保健と介護予防の一体化事業を実施。健診受診勧奨や九度山町に多い高血圧について、要注意者に対しアンケートを送り、その状況を保健師が把握し、必要な方には医療受診等促す事業等をしております。

介護保険特別会計

問 介護保険料の段階が 9 段階から 13 段階になりましたが、その影響で、第 1 号保険料による収入が、昨年度と比べ 450 万の減額となったのですか。

答 保険料率が 13 段階に増え、低所得者の方の保険料率の減額と、第 1 号被保険者の人数が減っていることにより、第 1 号保険料による収入が減っております。

問 介護予防教室等の予防事業をコロナ前の状況に戻すための方針について。

答 介護予防教室への新規加入の呼びかけを引

き続き進めて参ります。

簡易水道事業会計及び下水道事業会計

問 簡易水道事業公営企業会計アドバイザー業務委託の詳細な説明について。

答 公営企業で運営していくにあたり、財務諸表や予算書の作成に専門的などころのアドバイザーをいたたく業務内容です。

問 会計処理のできる職員を雇われる方が経費が抑えられると思うのですが。

答 3 年間の公営企業会計アドバイザーに業務委託中に、職員を育成する事も業務に含まれておりますが、専門的な知識が必要なのでその辺も含めて今後考えていきたいと思っております。

産業厚生常任委員会

徳島県上勝町視察

令和 6 年 2 月 1 日（土）
上勝町は、人口 13,937 人・728 世帯の小規模な町で中山間地域にあります。

元々、ごみ収集車がなくて、野焼きをしていましたが、ゼロ・ウェイスト宣言（無駄を無くす）を行ない、ごみを分別所へ持って行き、45 種類に分別にしています。この宣言から 17 年、リサイクル率が 80% 以上となっております。

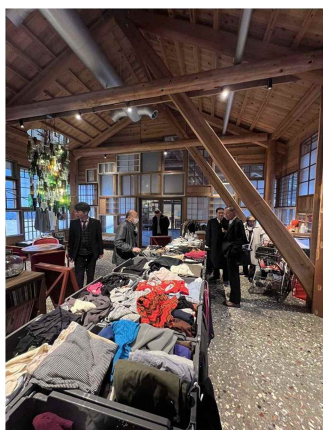
また、昭和 55 年まで、みかんが主要な農産物でしたが、翌年大寒波に見舞われ、みかんの木が全滅しました。料理の横に添えられた一つまみの「からヒントを得て発案され、葉っぱビジネス（彩事業）を展開することになりました。

葉っぱビジネスは、商品が軽量で取り扱いやすく、女性や高齢者の方でも取り組めます。しかも、年収の安定につながり、やりがいを持ってできることで、心身共に健康でいられるとの良い特徴があります。視察研修を経て、ゼロ・ウェイストを目指したまちづくりには、住民一人ひとりの意識改革が必要だと感じました。

産業厚生常任委員長
今井 三恵子



視察研修の様子



一般質問と答弁

伊丹 俊也 議員

問一

「九度山町地域防災計画」の

検証・見直しについて

質問① 災害対策基本法は、地域防災計画について毎年検討を加え、必要があるときは修正しなければならないと定めています。2022年3月に改訂された「九度山町地域防災計画」の検証・見直しについて尋ねます。

町長 国の防災基本計画と和歌山県地域防災計画の改訂内容を反映させるとともに、本町から石川県能登町へ派遣した職員の意見等も踏まえ、計画の改訂を2024年度中に進めてまいりたいと考えています。

再問 昨年6月の豪雨災害を受けて、計画見直しが必要だったのではないのでしょうか。

地域防災課長 県の計画改訂が最新で22年11月でした。国と

県の計画を基に、町の計画を改訂するので、昨年6月の豪雨災害の反映はまだできていません。

町長 去年の豪雨災害を記憶しているうちに、するべき事を検討し、計画に載せる前に総括をしておきたいと思っています。

質問② 地域防災計画を作成する「九度山町防災会議」の構成と活動状況について尋ねます。

町長 防災会議の構成は、町職員、伊都振興局地域振興部長、橋本警察署長、伊都消防組合消防長、九度山町消防団長の20名です。活動状況は、計画改訂のため、2021年12月と22年3月の2回開催しています。

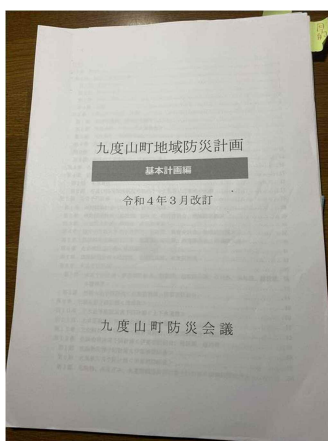
再問 女性の視点で計画立案が必要との観点から、会議に女性が1名なのはいびつな構成ではないのでしょうか。

地域防災課長 女性の視点については、国・県の資料を踏まえ

て対応しているところで、今後の状況を踏まえて適切に検討してまいりたいと思います。

質問③ 多様な避難のあり方に柔軟に対応できるよう「避難は指定避難所へ」という原則の見直しが必要ではないでしょうか。

町長 災害時に、安全な場所にいる人まで避難所にいく必要はありません。リスクが軽微だと考えられるときは、在宅避難もあります。避難先は、安全な知人宅も考えられます。これらのことを踏まえた上でも、避難者の安全を考えれば、行政の目が届きやすく、避難者の健康管理、物資提供などの支援が適切に行える指定避難所へ、という考えであります。

問二
チャットGPTなど
生成AIの活用について

質問 一部自治体がチャットGPT等の生成AIを試験的に業務に活用しています。本町において、チャットGPT等の行政への活用についてどのようにお考えですか。

町長 生成AIを活用する場合、個人情報や機密情報漏洩の危険性、誤った情報、倫理的に問題のある表現などの課題について対策が必要なこと、利用方法によつては、個人情報保護法などに違反する恐れがあることから、本町では活用に至っておりません。他市町村の情報を収集・分析し、法的リスクなどを職員に意識させるよう、周知してまいりたいと考えています。

※チャットGPTとは、人工知能(AI)を使った対話型サービスです。人間の質問に対して、人間のようになら自然な回答をするという注目を集め、利用者数が急増中です。

山下 晴夫 議員

問一

災害時における

備蓄品、資材等について

質問

災害時における備蓄品についてはきりがないとは思いますが、冷風機・石油ストーブ・扇風機等が設置されていない避難所があります。又飲料水の備蓄の代わりに浄水器を設置するとか、考えはないですか、お尋ねします。

町長

今後は見直しを行い令和6年度中に明記してまいりたいと考えています。

再問

昨年4月伊都消防署がドローン隊を発足されています。物資の運べるドローンがあれば大掛かりなヘリコプターより小回りができる。伊都消防署と伊都ワンチームで、そういうドローンを装備できるような方向性を打ち出していただけたらと思います。いかがですか。

地域防災課長 今後検討してまいりたいと思います。

問二

防災ヘリコプターの離発着の

位置づけについて

質問

大災害が起こった場合、山間部は陸の孤島になるのを想定して地域防災計画に防災ヘリコプターの活動内容が示されて

問三
フルーツラインの路面標示と看板について



質問

前々回の回答で、今後の安全対策として、立て看板横断者注意などの路面標示については県文化遺産課と協議を進めてまいりたいとの回答をもらっています。その後の進捗状況をお尋ねします。

教育長

既に車両用・歩行者用の表示物を設置し安全対策に努めているところです。路面標示については狭い道、指示看板が置けないというところに置くのが目的なので、必要性は感じていません。

再問

5年8月18日に橋本警察の交通課長に確認してもらったところ、「流石にこの橋のところは危険やな」と言われました。路面標示については県文化遺産課も、警察も標示してもらってよい、後は道路管理者（九度山町）がやる気があればできるということです。どうですか。

教育長

町としては路面標示が適切ではなく、現在について看板で十分対応できると考えています。

問四

新型コロナウイルスについて

質問

新型コロナウイルスの予防接種の公費負担が3月末をもって撤廃となり、4月からは自己負担となります。このコロナワクチン接種について、町としての見解をお尋ねします。

町長

令和6年度のコロナ予防接種については現在国からは何も示されていません。詳細が分かり次第、実施方法など検討してまいります。接種に係る費用などは全国の標準をもとに、近隣の市町の金額を勘案しながら決定する予定です。

再問

厚労省に電話すると補助等については各自自治体が考えてくれたらよいとのことでした。九度山町が率先してやれると思います。いかがですか。

住民課長

自己負担額については全国の標準をもとに近隣と合わせていくという考えです。

前川 成巳 議員

九度山町役場庁舎の耐震性と

安全の確保について

質問 九度山町の庁舎は、昭和56年までの旧耐震基準、つまり震度5強に耐えられる設計によつて、昭和41年に建設されたものです。阪神淡路大震災以降、被害の大きい震災が続いており

ますが、そういった震災に備え、職員や来庁される住民の方の安全を守る建物にすべきと考えますが、町の見解をお尋ねします。

町長 本庁舎は、昭和41年に建設され、築後58年を経過し、平成6年に大規模改修を行なったが、平成24年度の耐震診断では、1階から3階までの全ての階で日本建築防災協会が定める、鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準である構造耐震判定指標を下回っています。耐用年数は、税法上では50年ですが、物理的寿命は一般的に65年以上と言われています。本町では、平成30年6月に役場庁舎建設

基金条例を制定しており、主に将来の建替えに充当する目的に設置しましたが、耐震改修等の改修工事にも充当できる規定を設けており、将来のどちらにも活用できるとしています。

優先順位としては、まずは住民の方々が避難する施設の整備をすべきと考えており、町内各地域における避難所となる公共施設から、順次、老朽化対策に取組んでいます。

再問 九度山町地域防災計画の中で、(地震発生が)想定で、冬・夏12時・18時となっていますが、お昼12時は職員の方がいます。震度6強の地震が来た場合、庁舎が潰れる可能性がある。何よりも大事なものは命なので、やっぱり本丸はしっかり自助は自分で命を守る。共助はそこからの話。公助は並行で進まなければ、緊急時には公助も同時にできなければ意味をなさないと思います。耐震化の考えがあるのか見解をお願いします。

総務課長 役場庁舎の耐震については、まずは住民の方が避難する施設の耐震化を高める計画

を進めています。対策終了後、当然庁舎の方の耐震、もしくは建替えが一番現実的だと思います。地震はいつ来るかわからないですが、(耐震化等を)しないというのではなく、住民の皆様の利用される公共施設の方から順次対策をとり、庁舎は、その後にということが前提でございます。

基金は今8千万程積立てておりますが、計画的に積立ていくのが本来であり、自己資金は増やしていかなくてはいけないと思っております。

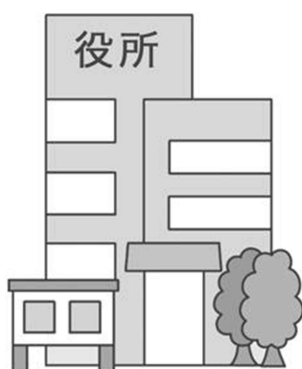
再問 同時進行はできませんか。早い目に補強なりをするっていうのも大事だと思うが。

総務課長 九度山町の場合、隣接するふるさとセンターが業務継続計画の中に、代替施設として役場庁舎の機能を代わりにできるように記載しています。今のところ、本庁舎は計画的に基金の積立を行った上で建替え、改修、いずれかの対応になるかと思っています。まずは住民の方の公共施設の耐震老朽化対策を進めることが、現在の町の方針で

ございます。

再問 職員の命も守らなかんと思います。いつ震災が起こっても大丈夫なようにお願いします。

町長 我々公務員の仕事は、住民さんの命を守ることです。そしてその次は、我々の庁舎も当然建替えも含めて考えていきます。優先順位でいえば今じゃない。ここの庁舎が耐えれないのかどうかっていうことも含めて、今後もっと検討していく必要があると思います。でもやっぱり公務員は、住民の生命と財産を守るということが一番の大前提です。その旨を皆さんの肝に銘じて、そしてこれから対応していきたいと思っています。



前田 彦尚 議員

家屋の耐震補強に関する 施策について

質問

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まっています。国土交通白書2020によりますと、南海トラフ巨大地震は、マグニチュード8〜9クラスの地震の30年以内の発生確率(2020年1月時点)が、70%〜80%とされています。

今年1月1日、能登半島で震度7・震度6強の地震が発生し、多くの皆さんが、被災されました。

今回の特徴は、家屋の倒壊による圧迫死、窒息死が多いとされており、家屋倒壊による火災も発生しています。

耐震補強工事がされていない家屋が多いと聞いています。

九度山町地域防災計画地震対策編では、南海トラフ巨大地震で、震度6強の場合、家屋の全壊68戸、率にして3%、半壊330戸、率にして14%となっています。又死者は4名、重傷者5名、軽症者55名、閉じ込め

者2名となっています。

今回の能登半島地震では、死亡者のほとんどが、家屋の倒壊によるものであり、耐震補強工事がなされていれば、命は助かったのではないかと思います。

能登半島地震の教訓から、国・県においても、住宅の耐震補強の重要性が指摘されていますので、本町としても耐震補強の取り組みを加速し、町民の命を守る必要があるとおもわれますが、町長のご所見をお伺いします。

町長

地震により住宅が倒壊する事で、早期避難や救助活動が困難になることが、想定されるため住宅の耐震性強化を図ることが重要であると考えています。平成16年度から国、県と共に住宅耐震化補助制度を進めており、現在町で取り組んでいる耐震化政策として耐震診断は、平成12年5月以前に建築された木造住宅について自己負担なし、また昭和56年6月以前に建築された非木造住宅については一部自己負担することで、実施しています。

その結果、耐震性が不足する

と判断された住宅には、耐震補強設計・改修工事に最大116万6千円の補助制度があります。また、地震により住宅が崩壊しても安全な空間を確保するものとして、耐震ベッド、耐震シェルター設置費用の3分の2以内又は上限26万6千円を補助する制度もあります。

また、県が行っている支援制度として、「和歌山県木造住宅耐震改修サポート事業」があり、耐震性が無いと判断された木造住宅に対し、各種相談、改修プランや概算工事費の提案など、手助けする専門家を無料派遣するものです。

町と致しましては、住宅耐震化の様々な補助制度の内容を広報及びホームページへ掲載するなどの啓発を行っています。住民の皆様には、制度の内容を知っていただくため、引き続き住宅耐震化の支援及び啓発に努めて参りたいと考えています。



意見書 提出

九度山町議会は議会最終日に、「ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書」の国への提出を全会一致で採択しました。

■ 意見書の趣旨

日本政府に対し「ガザ地区の危機的現実を直視し、イスラエルの国際法違反の攻撃中止を求めること、即時停戦、休戦を働きかける外交力を発揮し、国際法に基づく恒久的解決、和平が図られるよう最大限の努力を怠らないことを強く要望」するものです。

提出した意見書

ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書

パレスチナ自治区ガザ地区におけるイスラエル軍による大規模攻撃により、ガザ地区の人道状況は「千どもたちの最悪と化し、人々の生き地獄となっている」(ユニセフ)とも告げられる深刻な状況に直面しています。

この間、イスラエル軍は、ガザ北部のジャバリヤ難民キャンプへの連続的な攻撃、患者を乗せた救急車の行列へのミサイル攻撃など、陸・海・空から大規模な攻撃を行い、多数の民間人が犠牲となっています。イスラエルによる攻撃は、その一つが明白な国際人道法違反の戦争犯罪であるだけでなく、その規模からみて、ジェノサイド条約が適用されている集団殺害の重大な危険があることを強く指摘してはなりません。

今回のガザ危機の直後の契機は、10月7日のハマスによる無差別攻撃にあり、民間人を無差別に殺害することは明白な国際法違反であり、ハマスの行為は強く非難されなければなりません。しかし、イスラエルがハマスの攻撃に対する「自衛権」を盾に、圧倒的軍事力を使用した報復で、ガザでのパレスチナ集団殺害の可能性のある行為を行うことは国際法に照らして決して正当化されるものではありません。

国連総会は10月27日、パレスチナ自治区ガザの情勢に関して、「敵対行為の停止につながる即時かつ持続的な人道的休戦を求める」決議案を121か国の賛成で採択しました。同決議には、国際人道法に基づく全ての民間人の保護、ガザ北部から南部への市民の道徳的命の撤回、人質の即時解放などが盛り込まれています。

今こそ全ての当事者、関係各国、国際機関とともに、人道的休戦という一歩の譲歩もならぬ決意を表明するための外交努力を行い、即時停戦の国際的議論を進めるために行動することが必要です。

よって、政府におかれましては、ガザ地区の危機的現実を直視し、イスラエルの国際法違反の攻撃中止を求めること、即時停戦、休戦を働きかける外交力を発揮し、国際法に基づく恒久的解決、和平が図られるよう最大限の努力を怠らないことを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

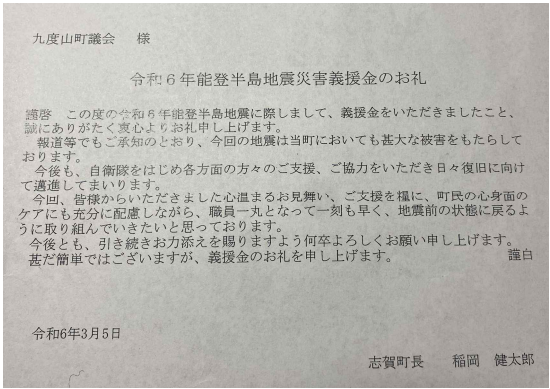
町議会の活動日誌

- 2月** 17日 令和5年度通常総会（京奈和関空連絡道路建設促進期成同盟会）
京奈和関空連絡道路の集いin泉佐野市
29日 議会運営委員会
- 3月** 4日 本会議、全員協議会、議会広報編集委員会
8日 河根中学校・九度山中学校 卒業式
11日 本会議
12日 総務文教常任委員会
13日 産業厚生常任委員会
15日 本会議、全員協議会、議会広報編集委員会
18日 河根小学校・九度山小学校 卒業式
19日 九度山幼稚園 卒園式、議会運営委員会
21日 本会議、全員協議会
23日 九度山保育所 卒園式
26日 議会広報編集委員会
29日 議会広報編集委員会
- 4月** 1日 九度山保育所 入園式
5日 議会運営委員会
8日 九度山小学校、河根中学校・九度山中学校 入学式、全員協議会
9日 九度山幼稚園 入園式
15日 議会運営委員会
- 5月** 4日 紀州九度山真田まつり
5日
14日 第76回和歌山県町村議会議長会定期総会
21日 令和6年度全国町村議会議長・副議長研修会（東京）
22日



◆石川県志賀町へ義援金を送る◆

今年1月の能登半島地震で被災した石川県志賀町（本町道の駅と姉妹駅協定を結んでいます）に、九度山町議会から義援金13万円を送りました。
稲岡健太郎・志賀町長より3月5日、義援金へのお礼をいただきました。



ご意見・ご要望をお待ちしております

宛先 〒648-0198
九度山町大字九度山1190
議会事務局「議会広報編集委員会」あて
TEL 54-2019(代表)
FAX 54-4705(直通)
mail gikai@town.kudoyama.lg.jp



九度山町議会ホームページQRコード

次回、定例会は6月に予定されています。
日程が決まり次第、ホームページに掲示します。
<https://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>

編集後記

皆様、こんにちは。
寒かった冬も終わりを告げ暖かい春
がやってきました。
今年初めの1月1日に能登半島大地
震がありました。
能登半島で発生した大地震の被害に
心よりお見舞い申し上げます。
被災された皆様には、一日も早い復興
と、安心して日常生活に戻れることを心
より願っております。

九度山町議会でも、防災意識が高まり、
防災面の話が絶えません。自主防災の備
えはととのつていきますでしょうか。
さて、九度山町議会ではインターネット
中継実現に向けて、九度山情報公開検
討会を立ち上げました。その活動は、近
隣市町への視察やネット中継を拝見し、
業者の方に聞き取りを行なうなど取り
組んできました。来年度のインターネッ
ト中継開始に向けて検討を重ねていま
す。
町民の皆様に見てもらいやすいネッ
ト中継を目指し、活動を進めてまいりま
す。
皆様のご意見等も聞かせてください。